

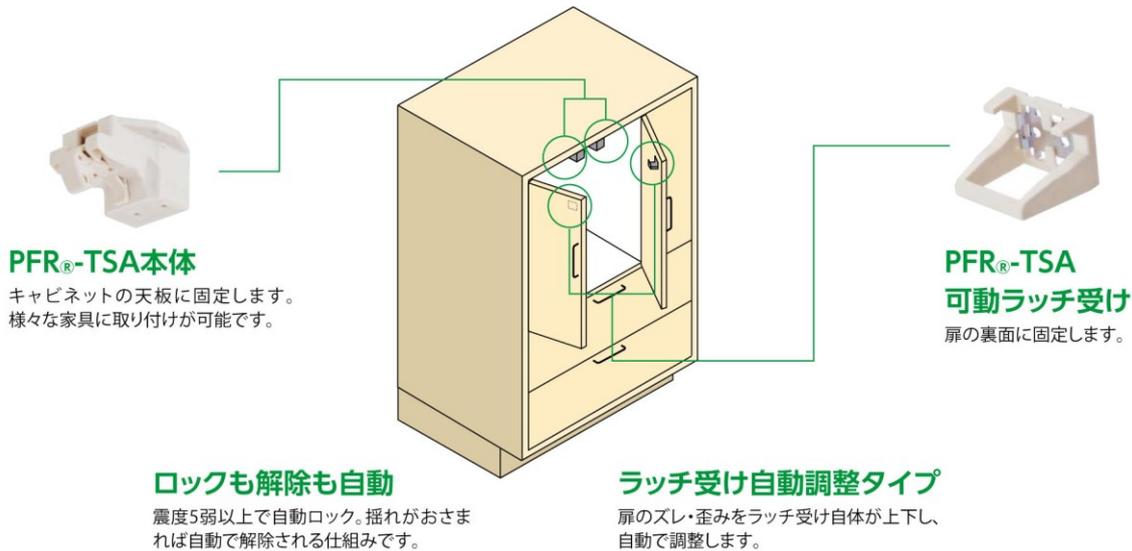
耐震ラッチ PFR-TSA ラッチ受自動調整仕様

簡単取り付け!食器棚からの危険な飛び出し・落下を防ぐ。

- 震度5弱以上で自動ロック(自動解除式)。
- ラッチ受け自動調整。
- 後付けも可能。

製品スペック：後付けタイプ/サイレントタイプ/ラッチ受け自動調整タイプ

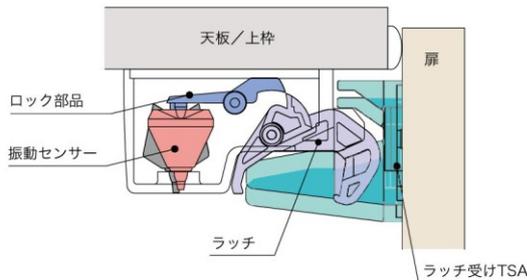
仕様：1扉1セット/(本体)天板取り付け、(ラッチ受け)扉裏面取り付け/(調整範囲)本体=前後方向±2mm、ラッチ受け=上方向+4mm(初期のクリアランス1.8mm含む)、下方向-6mm(初期のクリアランス1.8mm含む) ※下方向は扉が垂れ下がった場合に対応する方向です。



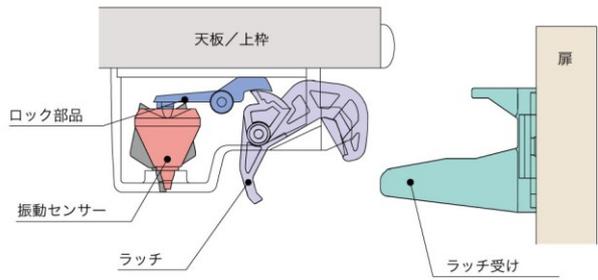
特徴

■通常の状態(振動なし)

【扉閉じ状態】 扉を完全に閉めるとこの状態になります。通常の状態では扉の開閉に伴い、ラッチが上下します。また、ラッチ受けは、正しく作動するよう、自己調整します。

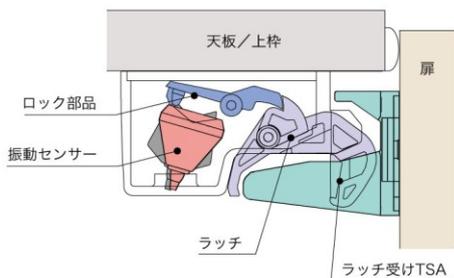


【扉開き状態】 ロック部品がラッチに嵌合していないため、ラッチの先端が上昇しています。下図は扉が開いている状態であり、扉が閉じる前の待機状態です。

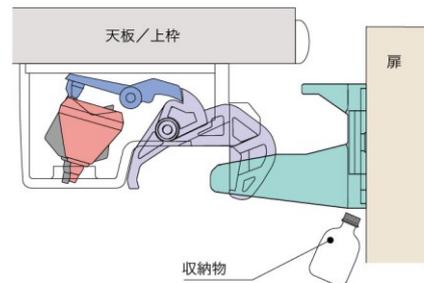


■地震発生時(振動あり)

【扉閉じ状態】 振動により振動センサーが揺動することにより、ロック部品が回転しラッチにロックを掛け、扉が開かなくなります。振動が止むと解除操作を行うことなくセンサーが元の位置に戻り、扉開閉が通常通り行えます。



【扉開き状態】 大きな振動の場合、扉に収納物等が寄りかかったままの状態が発生します。この状態ではロック部品とラッチがロックされており、そのため収納物は落下しません。この場合でも、若干開いている扉を押すことによりロックを解除することができます。



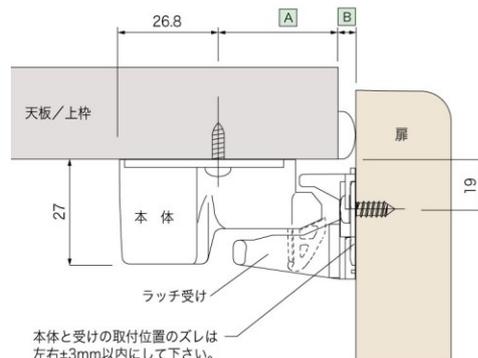
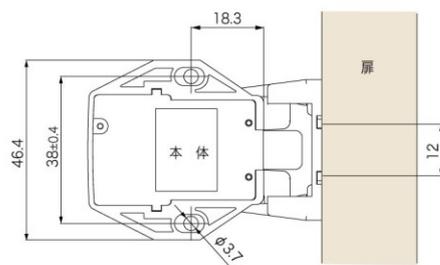
金具仕様一覧

品目/使用金具	製品寸法図	用途	材質/処理	色	金具使用数 [1扉あたり]
PFR ₀ -TSA 本体 52210201		■吊り戸や家具の天板にバインドT.Pφ3.5止メ	各種プラスチック 亜鉛合金ダイカスト	アイボリー	1
PFR ₀ -TSA 可動ラッチ受け 52210301		■扉の裏面にバインドT.P φ3.5止メ	スチール/三価クロメート PA66	アイボリー	1
PFR ₀ -TSA 施工治具ASSY 5220032		■本体に嵌合させて、本体とラッチ受けの位置出しをする際に使用する	POM スチール/ニッケルメッキ	黒	1

取付寸法図・ラッチ受けの自動調整

取付寸法図

固定ねじ:ナベ, バインドT.Pφ3.5



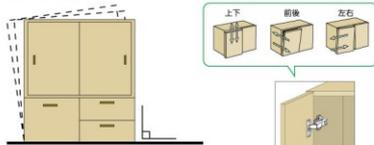
本体と受けの取付位置のズレは左右±3mm以内にして下さい。

$$A + B = 33.5 \pm 0.2$$

Bは扉側のクッションや収納側のパッキンの厚みです。
扉側のクッションや収納側のパッキンが無い場合は、B=0にして下さい。

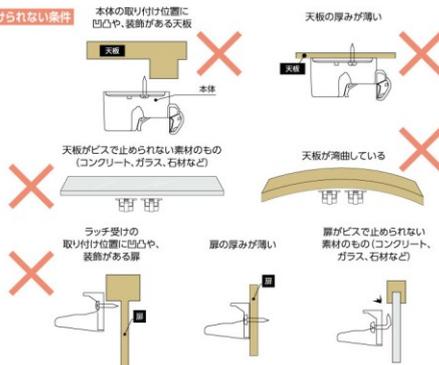
取り付け施工条件

条件1 取り付ける家具・建具が水平であること。スライドヒンジが調整済みであること。

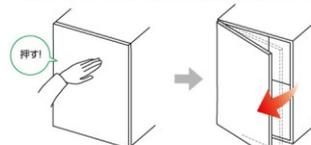


条件2 扉・キャビネットのネジ止め部分は木製であること。(ガラス製・金属製などには取り付けできません)

取り付けられない条件



条件3 ● プッシュオープンタイプの扉と、キャッチ(パネ)付スライドヒンジ以外の丁番が取り付けられた扉には使用できません。



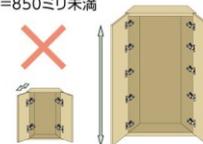
● プッシュオープン: 扉を押すと扉が開くプッシュオープン機能付きのものです。

● キャッチ(パネ)付スライドヒンジ: スライドヒンジの中にパネが内蔵され、扉が閉まる手前(当社スライドヒンジは約20°手前)で、自動的に扉を閉める力が働く機能が付いているスライドヒンジのことです。



条件4 推奨の扉サイズ

扉幅=180ミリ以上(ラッチ位置が戸先にあることを条件とする)
扉高さ=850ミリ未満



条件5 受けのネジ穴: 下穴径φ2~2.5mm、下穴深さ5~10mm